

第 15 次第 1 回多治見市廃棄物減量等推進審議会議事要旨（主な意見）

日時：令和 7 年 11 月 13 日（木）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

場所：多治見市役所本庁舎 5 階第 1 会議室

出席者 行本会長、小林副会長、山口委員、安藤委員、山田委員、梅村委員

事務局 水野環境文化部長、山田環境課長、岩田清掃事務所長、環境課小栗リーダー、三の倉センター石田リーダー、環境課伊藤、環境課加藤、

1 第 15 次廃棄物減量等推進審議会の主な議題と予定

2 会長・副会長の選出

会長に行本委員、副会長に小林委員を選出。

3 令和 6 年度の一般廃棄物（ごみ）排出実施計画と実績（報告）

○主な質疑、意見等

（委員）市が処分する産業廃棄物には、どういったものがあるか。

（事務局）多治見市は、一般廃棄物の合わせ処理として、産業廃棄物の一部を処分している。

可燃ごみとして廃プラスチックや木材、畳など。不燃ごみ（埋立ごみ）として陶磁器やタイル、コンクリートガラなど。

（委員）破碎ごみが減少している理由はなにか。

（事務局）破碎ごみは、可燃物と資源物が混合するごみのこと。収集量自体が大きく変動したわけではなく、破碎選別機が火災により停止しているため、名古屋市等へ処理を委託し多治見市の処理量が減少している。それに伴って選別される金属等の資源量も減少している。

（委員）破碎選別機の修理等を行わないのか。

（事務局）修理等も検討したが、費用が高額なことと、三の倉センターの操業期間を勘案し断念した。

4 令和 8 年度 多治見市一般廃棄物処理実施計画（案）

○主な質疑、意見等

（委員）令和 8 年度の目標値のうち、令和 6 年度の実績を単純に利用したように見える項目がある。令和 6 年度の実績も勘案して設定したという説明が良いと考える。

（委員）計画の項目により、減少が良いものがあれば、資源のように増加することが良いものがあると思うが、市民の方にはわかりにくい。外国人や新たに市民になる方も含め、「わたしたちのまちはわたしたちできれいにする」という気持ちになるような情報の出し方が重要。

（事務局）外国人の中には、ごみの出し方やルールが分からない方もあると考える。来年度、生活ルールや手続きに重きをおいた動画や冊子を作成し周知していきたい。

（委員）「おとどけセミナー」の実績が 2 件では少ないと思う。多くの市民に理解してもらうために、「おとどけセミナー」を充実させることが効果的と考える。

（委員）リサイクルステーションに出す量が減ってきている。月に 1 回ということもあり、

トレイやペットボトルの多くがスーパー等へ持ち込まれている。市民のマナーが悪くならないか心配。

(委員) スーパー等と市が連携してリサイクルを推進できると良い。そのためには、子どもの頃から、ごみの減量やリサイクルを学ぶことが大切。また、リサイクルの意識が低い市民への啓発が重要。

(委員) 生ごみは十分な水切りを行って廃棄する等、企業としてごみの減量に取り組んでいる。一般家庭にも参考になることがあるため、広がっていくと良い。

5 その他

関連施設の見学会について事務局から提案し、委員から賛同を得た。